

2011年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

巨大地震、それに伴う大津波、火災など、私たちは、これほどまでの災害を経験したことはありません。一方で、被災地域に暮らしている方々、救助活動や復興活動に尽力されている方々を支援するために、私たちができることのひとつが「節電」です。

この未曾有の大地震による、電力施設への被害発生により、私たちの日本は電力が不足しています。特に、被災地域においては、電力の確保は、救援活動や復興活動にとっては極めて重要な問題です。

首都圏では、3月14日から「計画停電」が、断続的に実施されています。計画停電は、電力需要が現状の電力供給能力を上回ってしまった場合に実施される手段であり、電力需要を抑制するためには、鉄道、工場、大型商業施設などの社会全体での節電努力、そして、一般家庭での節電努力が必要です。

被災地の復興のために、わたしたちができること 私たち一人ひとりの節電努力が、 被災地が必要とするエネルギーを創ります。

いま一番大切なことは、まず被災地が必要とするエネルギーを確保すること。そして、そのためには、私たち一人ひとりが「節電」を心掛け、続けていくことが重要です。

電気は、水道やガスの供給にも必要とされるエネルギーであり、被災地での救援活動や復興活動に必要なライフラインの確保のためにも、私たち一人ひとりの節電努力が必要なのです。

- 外出の際、あるいは、使っていない電気製品のプラグはコンセントから抜きましょう。
- 昼間は、なるべく必要最低限の照明で過ごしましょう。
- 朝の時間帯や18:00～19:00の時間帯が電力消費のピークタイムとなります。電子レンジ、洗濯機、炊飯器などの消費電力の高い機器は、ピークタイムをずらして使用しましょう。
- 冷蔵庫にはものを詰め込み過ぎないようにしましょう。また、電気炊飯器の保温時間を減らすのも節電に有効です。
- テレビよりもラジオのほうが消費電力が小さくてすみます。

電気を大切に使うことで、被災地を励ますことができます。

私たち一人ひとりの節電努力が、安定した電力供給と被災地が復興のために必要とするエネルギーを創り出します。物資援助やボランティアなどの人的支援と同様に、私たちが、いまそれぞれの暮らしのなかでできるボランティアなアクションが「節電」です。

私たちが日々の暮らしのなかで、節電に努力し続けていくことが、被災地のチカラになります。

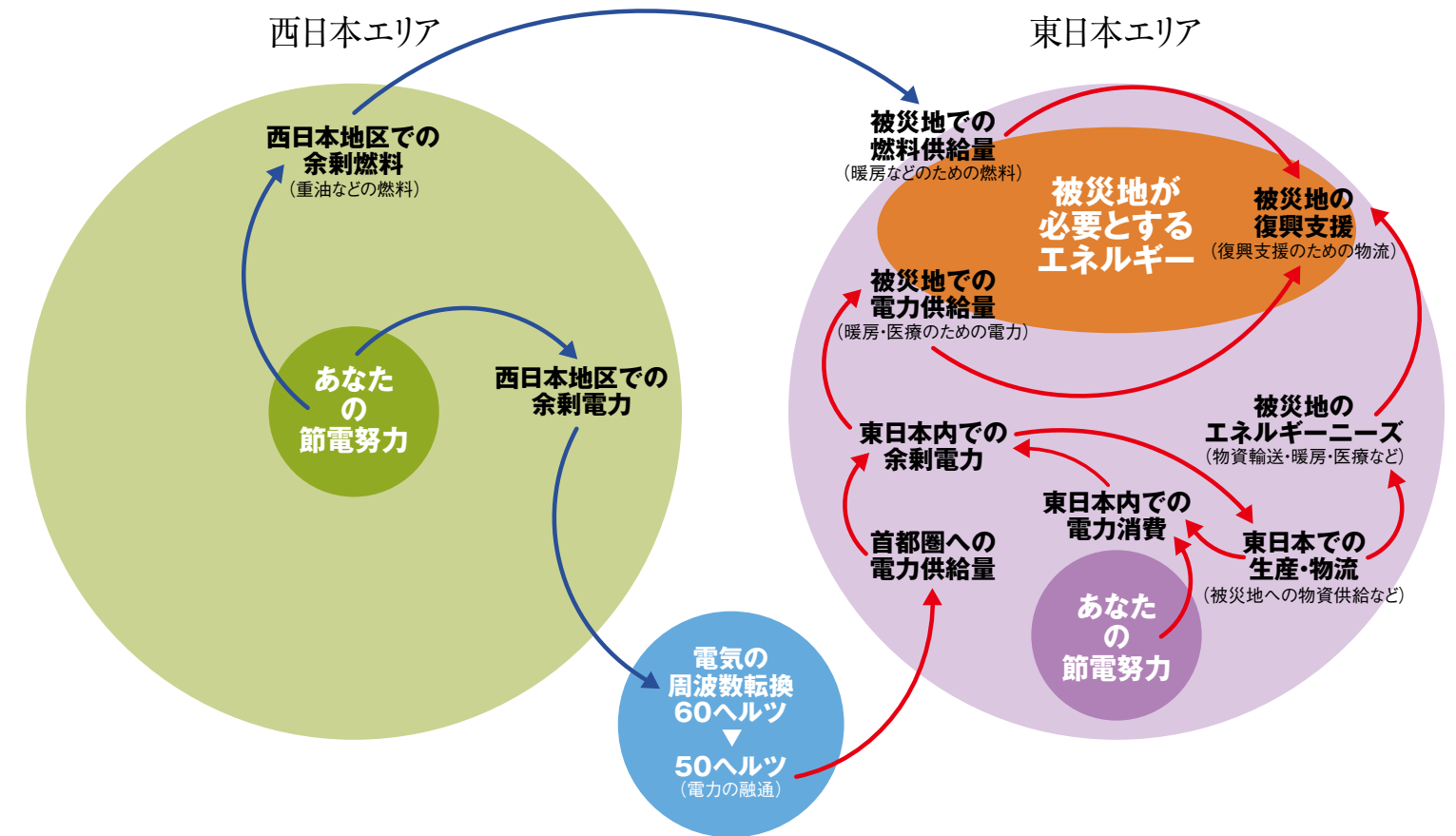
被災地へつながる、あなたの節電ループ図

私たちが、私たちの暮らしている場所で行う「節電努力」は、どのようなループで被災地へつながっているのでしょうか。複雑に思える状況を、それを構成する個々の要素を整理して全体像を俯瞰して考えてみましょう。そんなシステム思考で「節電」のつながり・ループを辿っていくことも大切なことです。

現在、節電が必要とされているのは、東日本エリア（東京電力、東北電力、及び、北海道電力の管轄内）です。私たち一人ひとりの節電努力は、被災地が必要とする電力の確保、あるいは、被災地が必要とする物資の流通や生産等のエネルギーの確保にも役立つものです（被災地のエネルギーニーズ）。

また、東日本と西日本では、周波数が異なることから東日本に周波数を変換して送電（電力の融通）できる容量には、上限がありますが、西日本エリアでも節電・節約することは、とても大事なことです。電力以外にも燃料が足りないという状況もあり、節電は、火力発電が使用する燃料（重油）の節約につながり、被災地が必要とする燃料供給につなげていくこともできます。

そして「電力消費量を自分たちの意思で減らすことができる」ことを未来に向けて実証・伝えていくためには大きな役に立つと思います。



この「節電ループ図」は、平成23年3月25日時点での状況を整理したものです。ここに出ていない要素やつながりについて、今後も考え続けていきます。是非、みなさまのご意見もお寄せください。

システム思考とは

私たちはとても複雑な社会に生きています。「複雑」というのは、1つの状況や問題を取り上げても、そこにはたくさんの「要素」が関連しており、しかも、それらの要素同士もさまざまにつながっている、ということです。システム思考は、「要素」の「つながり」をたどっていくことで、全体像を見ようという思考法です。目の前の現象だけではなく、その現象を引き起こしている「構造」を見抜くために役に立ちます。

ループ図の読み方の説明

システム思考にはさまざまなツールがありますが、なかでも「要素のつながり」が見える化するための「ループ図」というツールは、問題の構造や本質的な解決策を考える上でも、また状況や問題の見方を伝えたり話し合ったりするコミュニケーションの上でも、とても役に立ちます。その状況に関わっている「要素」をつながり示す「矢印」でつないでいくものが基本です。矢印をたどりながら読んでいくと、その状況の構造がわかります。ここに挙げたループ図は現象の「ある部分」の構造を示すものです。ここに出ていない、どのような要素やつながりがほかにあるでしょうか？

作画協力
幸せ経済社会研究所 (<http://www.ishes.org>)
(有)チェンジ・エージェント (<http://change-agent.jp/>)

ソトコト

あなたも節電メッセージになってください!

ご自身の団体で、また、個人でもホームページなどをお持ちの方で、この趣旨に賛同いただける方は、是非、メッセージになっていただけないでしょうか？このメッセージを拡散していただければと思います。メッセージのテキストはフリーでお使いいただけます。

ご賛同いただけるのであれば、下記URLのメッセージを「コピペ」して使ってください。

<http://www.sotokoto.net/setsuden/>